

農村伝道神学校学報

学校法人鶴川学院
農村伝道神学校
発行人 高柳 富夫

**安全保障関連法廃止！
辺野古新基地建設反対！**

「農村伝道神学校 入学を 志す人たちへ」

校長 高柳 富夫



◇里山の豊かな自然の中で

農村伝道神学校(以下、農伝)は、町田市野津田に位置する里山の中にあります。四〇ヘクタールの野津田公園に隣接する、とても貴重で豊かな自然に囲まれた環境です。里山の豊かな自然に囲まれながら、

宣教師への研鑽を積む環境が整えられています。一万五千坪の校内敷地には、実習農場、地域に開かれた家庭菜園、竹林、栗林があり、ぎんなん、サツマイモ、栗、たけの子など、四季折々の自然の恵みを味わいながら、「農と食といのち」をテーマとする「農の神学」を追究する学生生活を送ることが出来ます。



◇カリキュラム

今年度からカリキュラムを改定しました。まずは二年間の神学基礎コースで聖書概論、組織神学入門、教会史、農村

伝道論、聖書語学など宣教師として神学することの基礎を学びます。ここで修了することでも出来ます。その後、一年ないし二年の信徒宣教師養成コースか、または二年間の教職者養成コースに進むことが出来ます。

◇農伝における神学教育のビジョン

一、社会的靈性の養い

農伝の神学は、「宣教の学としての農の神学」です。真実は現場にあることを確信して、「農」にこだわる現場の神学を追究します。カリキュラムの中では、様々な実習が大きな割合を占めています。現在は毎週木曜日の午後、二年間の必修科目である農業実習(農業実習Ⅱはアジア学院での実習を選択することもできる)、毎週日曜日の教会実習、夏期実習としておこなわれる教会と社会実習、台湾の玉山神学院との協力でおこなわれる台湾実習などがあります。

実習は、現場と出会い、そこにある諸課題と対話しつつ

おこなわれる農伝の神学教育の重要なカリキュラムとして位置づけられています。すべてのいのちを敬い、一つ一つのいのちに寄り添う心を養うことです。様々な実習を通して、柔軟で開かれた姿勢を育て、多様性を重んじて共に生きる生活の視点に立って、教会の宣教を考える神学教育を行うことがねらいです。

三、宗教的靈性の養い
社会的靈性の養いとキリスト教的靈性の養いを根底から支える営みとして、宗教的靈性の養いとしての「黙想」の経験を含めていきます。「自己の本質」は何かという問いとじっくり向き合い、身体性を通して黙想の経験を深め、根源的な「いのち」に出会う体験を豊かにしていきたいと願っています。

二、キリスト教的知性の養い
解放の神学をはじめとして現代神学(者)の諸課題を研究対象とする多くのすぐれた講師陣による新鮮な問題意識に根ざした刺激のかつ挑戦的な座学がなされるように、現場実習と並んで座学を充実させていきます。歴史的伝統的な神学上の諸課題を視野に入れつつも、新しい問いを積極的に受けとめて神学する行為を追求して行きます。



そのために学生センター(研修棟)を改修し、二階に「黙想室」を作りました。一年生は必修科目として毎週金曜日(一時間の黙想(坐禅)の時間)を持っています。また、毎年一二月には特別講義として佐藤研氏を招いて五日間の「接心」を行っています。

農村伝道神学校入学を志す人たちが、一人でも多く興され、宣教の課題を広く担って、イエスの後に従う道を共に歩んで参りたいと祈り願っております。

研修棟（学生センター）改修工事報告

通常研修棟と呼ばれている建物は、一九七四年に「学生センター」として建てられました。

これ以上の老朽化を防止で新カリキュラムに合う用途にするために、夏休みの間を利用して改修工事を行いました。

外装を塗装し直しました。



また、二階の研修室を黙想室として改修し、



エントランスも床や壁を貼り直しました。



カウンセリンググループも設けました。



食堂もタイルを貼り替え、壁も天井も塗り直してとても明るくなりました。



工事は新校舎建築を請け負った三元建設にお願いしました。総工費は一八〇〇万円です。黙想室では坐禅会や接心も行われています。参加ご希望の方は事務室にお問い合わせください。

農伝デイ・オープンキャンパス

一〇月二二日（土）午前10時より恒例の農伝デイが行われ、講師に桃井和馬氏（写真家、ノンフィクション作家、桜美林大学特任教授）を迎えて記念講演が行われました。以下は桃井氏による講演の要旨です。

農伝デイ記念講演…「体感するキリスト教世界―キリスト教から読み解く世界情勢―」



これまで世界各地を、まるで衛星のように飛び回って取材してきました。その中で見えてきた人間の姿、また人間を越えた世界。

今日は農伝デイで、これからこの学校で神学を学びたいという方もいらっしゃると思いますので、私の体を越えた世界。

験の中から、農伝に入りたいという方には是非、今、聞いて頂きたいとお話しさせて頂きます。

まず最初に見て頂きたいのが、私が撮影したオーロラの写真です。なぜ私がオーロラを撮ろうと思ったかといえば、二〇一二年頃、国立天文台にいらっしやる一人の教授が「太陽活動が、停滞している可能性が否定できない」と発表することがきっかけでした。同じようなことは一七世紀〜一八世紀にもあり、その時期、地球は一気に寒冷化したらしいのです。そして太陽活動に影響されるオーロラも、七〇年間出現しなくなっただけです。

幸いにも？ 二〇一五年にその教授は「まだ寒冷化が起きるには至っていない」と発表しました。つまり二〇一五年の時点では、「まだ」温暖化が進行していると結論付けたのです。

世界で最も進んだ太陽観測衛星「ひので」から送られてくるデータを解析した結果、天文台が指摘したのが「太陽の不活発化⇨寒冷化」の可能性でした。地球の気温ひとつとっても、あまりにも多くの要因が複雑に関係しています。

そのため、本当に地球が温暖化しているのか、否かを、

「絶対」という言葉で表現することはできないのです。実は、私たちの科学レベルとは、実際の所、その程度で、「完全・完璧」ではありません。

しかし完全・完璧を盲信して作り続けたのが、「原発」ではなかったのでしょうか。けれども原発が事故を起こすことを、また一度事故が起きると処理さえまともにできないことを「三・一一」以降、私たちは知ってしまったのです。

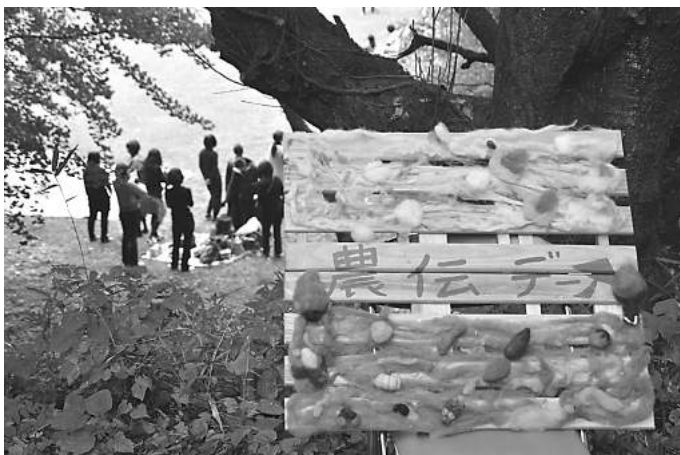
日本政府は原発から出る廃棄物を、「一〇万年間、責任を持って保管する」と表明しました(二〇一六年九月一日朝日新聞)。これはあまり問題にもならなかった政府見解です。理由は日本人のほとんどが、一〇万年という年月を、リアルに考えられなかったからです。

エベレストは、ユーラシア・プレートとインド・プレートの衝突の歪みで生まれた山です。歪みは一年でおよそ一〇cm。つまり八八四八メートルのエベレストは、八万八千年で誕生した計算になるわけで、日本政府が発表した一〇万年という年月は、世界で最も高い山エベレストが誕生するよりも長い時間だということがわかるのです。

一〇万年をリアルに感じられるようになったでしょう

か？ 今の日本政府が高濃度の放射性汚染物質を一〇万年の間保管などできるわけもありません。政府の明言する「保証します」は、何も論拠のない「戯言」に過ぎないのです。人間は、人間を越えた存在の前で「正しく畏れる」必要があると感じています。人間は簡単に暴走する。だから神が必要なのです。

農伝デイ・オープンキャンパスから





学事報告

◆研修棟改修工事は終了し、九月二七日に引き渡された。
◆集中講義を行った。
・牧会心理学
九月二八日(水)・二九日(木)
講師・石田真弓氏

◆九月三〇日 夏期実習報告会を行った。
大西秀樹氏

◆神学校日には以下の教会より学生派遣の依頼があり、学生を送った。(順不同)
埼玉和光教会、上大岡教会、上星川教会、小諸教会、三鷹教会、まぶね教会、横浜港南台教会、三・一教会、城西教会、名古屋新生教会、大江野の花教会、相武台教会、船越教会、小田原教会、大泉教会、稲城教会

◆農伝デイ・オープンキャンパスを一〇月二二日(土)午前一〇時〜午後二時に開催した。桃井和馬氏(写真家、ノンフィクション作家、桜美林大学特任教授)の記念講演「体感するキリスト教世界ーキリスト教から読み解く世界情勢ー」が多くの聴衆を迎えて行われた。
◆校長は三鷹教会修養会講師、同志社中学高校秋の宗教週間講師を務めた。
◆十一月二二日
今年度第一回入学試験

2017年度入学案内

- ◆受験資格
 - (1) 日本基督教団に限らずプロテスタント教会に所属し、原則として受洗後1年以上(洗礼式を行わない教派については、それに準ずる)の教会生活をしている者。
 - (2) 所属教会が推薦し(可能であれば)、高卒または同等以上の学力を有すると認められる者。
- ◆修業年限
 - 神学基礎コース：2年間(2年間で修了することも可)。
 - 基礎コース修了後、神学専門コースに進むことができる。
 - 神学専門教職者養成コース：2年間
 - 神学専門信徒宣教師養成コース：1年間または2年間
- ◆学費
 - 入学金 60,000円(入学時のみ)
 - 授業料 240,000円(年額)
 - 設備費 30,000円(入学時のみ)
- ◆受験手続

次の書類を期日までに郵送または持参する。

 - (1) 入学願書(本校指定の書式)
 - (2) 履歴書(本校指定の書式)
 - (3) 教会(牧師または役員会)の推薦書(可能であれば)
 - (4) 最終学校卒業証明書(または卒業見込み証明書)
 - (5) 受験料 10,000円(振り込み)
- ◆入学願書受付
 - 第1回 2016年10月4日(火)〜11月4日(金)
 - 第2回 2017年1月5日(木)〜2月3日(金)
- ◆入学試験日時
 - 第1回 2016年11月22日(火)午前9時〜午後3時
 - 第2回 2017年2月21日(火)午前9時〜午後3時
- ◆会場 本校教室
- ◆入学試験科目 (1) 小論文 (2) 旧約聖書・新約聖書 (3) 面接
- ◎入学願書一式、過去の試験問題集は、本校事務室まで請求ください(無料)。

理事・評議員会報告

農村伝道神学校の高柳校長は来春二期目の任期満了をもって校長職を辞したいとの意思を表明した。常務理事会は高柳校長の申し出を受け、次期校長選考委員会を設けた。

お知らせ

- ◇アドヴェント礼拝日時…一二月二日午後五時
場所…農村伝道神学校礼拝堂
説教者…菊池譲牧師(山谷兄弟の家伝道所)
- ◇今年度特別講義「接心」
- ◇今年度第二回入学試験
二〇一七年二月二日(火)
願書受付…二〇一七年一月五日〜二月三日
- ◇農村伝道シンポジウム
二〇一七年二月一日。テーマと講師は現在未定。公開です。
- ◇集中講義…解放講座D「障がい者の人権」(公開)
講師…島しづ子牧師(名古屋堀川伝道所)二〇一七年二月七日〜一〇日午前一〇時〜午後三時半聴講希望者は事務室まで。聴講料…一日三千円。昼食は各自用意ください。
- 講師…佐藤研氏(立教大学名誉教授・本校講師)
日時…一二月六日〜一〇日
場所…農村伝道神学校黙想室。
聴講申込みは締め切りました。
- 鶴川シオン幼稚園の本田園長は来春一期目の任期を終える。常務理事会は本田園長に継続して園長を務めることを求めた。第二回理事会・評議員会で決定される。
鶴川シオン幼稚園の経営悪化等を受け、子ども・子育て支援新制度にもとづいた体制変更をおこなうよう準備をおこなっている。
(書記 横野朝彦)

農村伝道神学校
〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024
Tel 042-735-5775 Fax 042-735-5711
Eメール: noden@pony.ocn.ne.jp
ホームページ: http://www.noden.server-shared.com
振替番号
農村伝道神学校 00160-6-18485
農村伝道神学校後援会 00120-6-24418